(BISE )

公表 事業所における自己評価結果 沢屋・生徒が多く、神奈介勢も多数必要な 3人員が足りない。 N用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている か、また、専業所の設備等は、同番の特性に応じ、パリアフリー化を 情報伝達等、環境上の配慮が強切になされているか。 4 4 生活空間は、消滅で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども違の活動に会わせた空間となっているか。 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら る環境になっているか。 し合いが不足している。一方道行の話になっ しまうことが多い。問いかけにも得ってこな にとがある。 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(回標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか、 職員の根見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善になけているか。 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい か。 6 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を 数算機等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。 放露場等デイサービス計画には、設議機等デイサービスカイドライ の「設議等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「 16 競技援」、「移行支援」及び「物域支援・物域通常」の自らい及び 指示符を出来るながら、こともの支援と必要な場面が可引に設定 れ、その上で、具体的な支援が得なされているか、 担当職員が主に担当しているが、必要に応じ 値で相談し、より負い内容を企画している。 17 活動プログラムの口書をチームで行っているか。 21 支援終了後には、職員関で必ず打会せを行い、その日行われた支援 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 なげているか。 23 定期的にモニタリングを行い、放酵検等デイサービス計画の見直しく 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 24 放酵後等デイザービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 合わせて支援を行っているか。 職員からのトップダウンではなく、子ども達の 自主性を尊重して支援している。 25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 27 地域の保健、医療 (主治医や協力医療検問等) 、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 6 学校との情報共有 (申封計画・行事予定等の交換、こともの下投料制 の確認等)、連絡問題 (総理等の対応、トラブル発生等の機能) を適 (知行すている力) 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 相談支援事業所を介して情報提供を行ってい る。必要に応じて担当者会議へ参加している。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーパイズや勧告や研修を受ける機会を設けているか。 32 数課後児童クラブや児童館との交送や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 36 連熱相程、支援プログラム、利用者負担等について丁草な説明を行っているか。 放揮後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の概想 の需要、こどもの最高の料益の優先考慮の概点を設まえて、こどもや 享後の概向を確定する機会を設けているか。 38 「放酵後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の政務を行い 保護者から放酵後等デイサービス計画の問題を得ているか。 送辺時に相談事があった場合には個問を 西間で情報共有している。 99 単独等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、直談や必ず な物震と支援を行っているか。 運動会への参加を呼びかけ、一緒に活動できる 機会を扱けた。 どもや保護者からの高値について、対応の体制を整備するととも こ、こどもや保護者に関対し、高値があった場合に迅速かつ環切に対 しているか。 芝用的に通信等を発行することや、IPPOSIS等を活用することに な用的に通信等を発行することや、IPPOSIS等を活用することに な悪動板更行行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対 て発信しているか。 カルテの表紙に色適用紙を起り、個人情報会 に努めている。不要書類は必要に応じてシュ レッダー処理を行っている。 特性に応じて視覚的および聴覚的に情報提示を している。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営を 関っているか。 別っているか。 動助社でニュアル、緊急終対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 成功地でエコアル等を展定し、機費や要決等に開始するとともに、発 全を表定した顕著を開始しているか。 47 業務施統計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 支限的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 保護者面談時に関き取りを行い、随時変更が あった場合には情報業況をしてもらっている。 48 事前に、服薬や予防接種、てんかん角作等のこどもの状況を確認し いるか。 行ってはいるが、不十分と思われる。実施が を検討してゆく。 50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な を購じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 護者への敵的な協会が必要と思われる。 51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全 面に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 6 研修に積極的に参加をしている 53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決 定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後 等デイサービス計画に記載しているか。

6